

高等学校外国語科（英語）学習指導案

広島県立庄原格致高等学校
教諭 神垣 美穂

1. 学年 第2学年
2. 科目 英語コミュニケーションⅡ
3. 教材・単元 Lesson 3 Tokyo's Seven-minute Miracle
LANDMARK Fit English Communication II（啓林館）

4. 単元について

(1) 単元観

本単元では、社会的な話題についての文章を読んで、概要や要点を捉える力を育成することを目標とする。この目標は、高等学校学習指導要領（平成30年告示）外国語「英語コミュニケーションⅡ」目標(2)「読むこと」イ「社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。」に基づいて設定した。

本単元で扱う教材は、東京駅で新幹線の清掃を行う「テッセイ」と呼ばれる人々の仕事についての説明的な文章である。単元全体を通してテッセイの仕事について“performance”、“work”という語を使い分けて記述してあることなどから、語句の使用意図に注目させながら概要や要点を読み取る指導をすることに適している教材である。また簡潔な文で説明がされており、文には明示されていない文章の前提となっている背景知識や、文と文のつながりや関係性を考えさせることで概要や要点を捉えさせるのにも適した教材である。単元の最後には、仕事に向かうテッセイの方々の姿勢について読んだことを基に、将来の自分について考えさせる問いかけがある。事実や意見を区別して読むことに加え、文章に書かれていることを基に筆者の伝えたいことは何か考えながら読むことを意識させることができる教材である。

(2) 生徒観

本クラスの生徒の学習意欲はおおむね高い。未知の英文に対して意味を予測しながら読んだり、精読したりする活動を通して、意味のまとまりごとに細かく意味を捉えることには慣れてきたが、つながりを示す語句やトピック・センテンスに注意したり、文と文のつながりや関係性を捉えたりして、文章の概要や要点を捉えることに課題がある生徒も多い。

1年時に実施した記述式の学力テストの「詳細理解力」を問う問題では、語の示す内容を日本語で説明する問題において、全国平均得点率が38.0%、学年平均得点率は38.0%、本クラスは52.0%となっており、文の意味理解はある程度できていると言える。しかし、「論旨の解釈力」を問う問題では、前後の文のつながりを把握し、空所に適切な語句を選択する問題において、1年生7月に実施した学力テストでは全国平均得点率が33.3%に対し、学年平均得点率は20%、さらに本クラスの生徒の平均得点率は13.3%と大幅に下回っている。また1年生1月に実施した学力テストでは、前後の文に含まれる談話標識などを読み取り、文のつながりを理解して空所に適切な語句を選択する同様の問題において、全国平均が40%、学年平均が26.7%であるが、本クラスは23.3%の平均得点率となった。このことから概要や要点を捉えることに課題があることが分かる。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、概要や要点を捉えられるようにするために推論発問を中心とした発問を取り入れる。

本実践においては、田中武夫ら（2011）に基づき、発問は事実発問・推論発問・評価発問の三つに区分した。事実発問とは、文章に発問の答えが明示されているもの、推論発問とは「テキスト上の情報を基に、テキスト上には直接示されていない内容を推測させる」¹⁾発問、評価発問は文章の内容についての読み手の意見などを答えるものである。概要や要点を捉えるためには、読んだ内容についての理解を深める必要があるため、本文から答えを抜き出して答えることが可能な事実発問だけではなく、推論発問を取り入れることが効果的であると考えられる。

概要や要点を捉える力を育成するために捉えさせるべきことを、高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説外国語編英語編を基に次の3点に分類した。

①話題の内容 ②文章の構成・文と文の関係性 ③語句（キーワード・使用の意図）

この3点を捉えさせることで、概要や要点を捉えることにつながる。この3点を捉えさせる推論発問を作成し、Pre-reading、While-Reading（1st概要、2nd概要・要点）、Post-readingの指導の過程に位置付けて発問を行う。本時案には、発問の分類を事実・推論・評価と記述し、①～③のどれに位置する発問であるかについても記述する。

5. 単元の目標

働き方、在り方に対する自分の意見を説明するために、新幹線の清掃を行うテッセイと呼ばれる人々の仕事についての説明文を読んで、本文の概要や要点を捉えることができる。

6. 単元の評価規準（「読むこと」の評価規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・概要や要点を読み取るために必要となる語彙や表現を理解している。 ・テッセイの仕事についての説明文の概要や要点を読み取る技能を身に付けている。	働き方、在り方に対する自分の意見を説明するために、テッセイの仕事について書かれた説明文を読んで、概要や要点を捉えている。	働き方、在り方に対する自分の意見を説明するために、テッセイの仕事について書かれた説明文を読んで、概要や要点を捉えようとしている。

¹⁾ 田中武夫・島田勝正・紺渡弘幸（2011）『推論発問を取り入れた英語リーディング指導』三省堂 p.13

7. 単元の指導と評価の計画（全6時間）

時	■：本時の目標 ・学習活動	評価			
		知	思	主	評価方法 (観点)
1	■：Part1-2の内容とタイトルの関係性を考えながら読む。 ・プレテスト・アンケート ・Pre-reading（導入）：タイトルから内容を推測する。 ・初読後、表現プリント①-1（選択問題・記述）に読み取った概要や要点を記述する。	一斉に記録に残す評価は行わない。 ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を見取って指導に生かすことは毎時間行う。			
2	■：ッセイの仕事の特徴を読み取る。 ・単元の目標・評価規準を確認する。 ・前時の振り返りを行う。 ・While-reading (1st) (2nd)：概要と要点を把握する。				
3	■：概要や要点を整理し、整理したことを書いたり話したりして説明する。 ・前時の振り返りを行う。 ・Post-reading（振り返り）後、表現プリント①-2に読み取った概要や要点を記述し、①-1と比較する。				
4	■：ッセイが日本で成功している理由を読み取る。 ・Pre-reading：前半の内容から後半を推測する。 ・テキストを初読後、表現プリント②-1に読み取った概要や要点を記述する。 ・While-reading (1st)：事実発問を通して概要を捉えさせる。 ・While-reading (2nd)：推論発問を通して概要と要点を捉えさせる。 ・表現プリント②-1に読み取った概要や要点等を記述する。				
5	■：概要や要点を整理し、整理したことを書いたり話したりして説明する。 ・Post-reading（振り返り）後、表現プリント②-2に読み取った内容を記述し、②-1と比較する。				
6	■：筆者はこの文章で何を伝えたいのかを読み取り、自分の考えを説明する。 ・Lesson全体の振り返りを行う。 ・表現プリント②-3（選択問題・記述（以下の評価発問に答える）） 評価発問 テッセイの仕事に向かう態度などを読んで、働き方や在り方について自分はどのようなことを考えただろうか？ ・アンケート・ポストテスト	○	○	○	・授業ビデオによる行動観察（思・主） ・表現プリントの記述（思・主） ・ポストテスト（知・思）

8. 本時の展開

【第4時】

(1) 本時の目標

テッセイが日本で成功している理由（日本の掃除文化・テッセイの仕事に対する誇り）を読み取る。

(2) 本時の流れ

	学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て) ・発問をする目的 Q:教師からの発問 S:予期される生徒の発言 A:発問に対する解答例
導入	1 Greeting (1分間)	
	2 Pre-reading (3分間)	◇どのような要素が次の Part3-4 に来るか、文章の構成を意識して予測させる。
	3 初読 (15分間)	◇未知語は推測可能なものは推測させるが、その他は注を載せ、語彙でのつまづきを減らす。 ◆推測できない未知語がある場合は、ペアに聞いたり、辞書で語義を確認したりするよう促す。 ◇表現プリント②-1：読み取った概要と要点を英語または日本語で書かせる。 ◆英語で書く際に使用できる表現を与えておく。 ◇Part 3、4のタイトルを考えて表現プリント②-1に記入させ、While Reading (2nd)の後に再度確認できるようにする。
	4 目標の確認	テッセイの成功の理由を読み取る
展開	5 While-Reading 1st Reading (概要) (10分間)	◇事実発問をして概要を捉えさせる。
	6 While-Reading 2nd Reading (概要・要点) (20分間)	◇推論発問をして概要と要点を捉えさせる。 ・文と文のつながりを考えさせる。 Q:本文の「テッセイのシステムの導入を考えている国もある」という内容の文の後の However の後の空欄中に入る適切な文は何か。なぜそう考えるか。(推論発問：②文章の構成・文と文の関係性) Q:Part3 “For example, students in many schools clean their classrooms and other places they use.”と“After concerts or soccer games, people often take their garbage back home with them.”の間に入れるのにふさわしい接続語は何か。(推論：②) →A: In addition, Also, And など、例の続きであることが理解できていることを示す語。 ・Part の役割を問い、内容のつながりを考えさせる。 Q:Part3 の役割は？(推論：②) →A:テッセイが日本でうまくいくことの文化的背景の説明 ・文と文のつながりを問い、筆者の伝えたい内容を考えさせる。 Q:“They think it natural that they clean the places around them.”と、

“This culture may help the Tessei with their excellent work.”の間に入れるべき内容は？省略されている内容は？（推論：②）

→S:日本人は掃除を当たり前にするからテッセイの人も当たり前になっている。

◆以下の質問をして考えさせる。

Q:excellent work とは、どういうこと？（推論：③）

→S1:素晴らしい仕事

S2:時間通りにきれいにすること

Q:時間に間に合うためには、どういう状態であるとよいのか？

→S:ゴミが少なくそんなに汚れていない。

Q:では、きれいにするのが当然と思うことと、テッセイが素晴らしい仕事をするとの間をつなぐ内容は？

→S:きれいにして帰るので、ゴミが少ないから、早くできるということ。

・段落における筆者の意図を考えさせる。

Q:この段落から、筆者が伝えたい事は何だろうか？（推論：②）

→S1:テッセイの成功は文化背景も影響している。

→S2:日本人の掃除文化はすごい、ということ。

Q:筆者は、なぜこの説明をここにしたのだろうか？（推論：②）

→S:テッセイもすごいけど、みんなもやっているよってこと？身近に感じる？

・語彙に着目させ、筆者の意図を考えさせる。

Q:work と job の違いは何だろうか。（推論：③語句）

→A:やること、と仕事・職業自体

Q:テッセイのもう一つの成功の理由…プライドについて、Part4 には“cleaning means much more to them.”と“the Tessei’s job is to clean Shinkansen trains, but now it is more than just that.”という表現があるが、どういうことだろうか。（推論：③）

→S:世界的に有名な技である。こなすだけじゃない。思いやりや工夫を含んでいる。誇りをもってやっている。

◆with small ideas and a lot of efforts, miracles can happen という文に着目させる。

Q:テッセイの仕事の説明として、performance と work という言葉が繰り返されていると確認したが、どういう意図で使い分けてあると思うか。根拠とともに答えよ。（推論：①・②・③）

◆単なる仕事ではなく、乗客のために工夫をしていること等も含めて performance と形容していることを感じさせる。

◆「奇跡を起こす」に perform という動詞が使われていることに着目させる。

Q:この Lesson で筆者が最も伝えたい事を書いている文、段落はどこだと思うか？（推論：②・③）

◇表現プリント②-1 に、概要、要点、Part3・Part4 のタイトルを書かせる。

まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントを回収する ・目標を達成したかどうか、ペアで確認する。
-----	---

9. 評価発問に対する解答の評価の基準

本単元では、目的に応じて捉えた概要や要点を基に自分の考えをまとめ、概要や要点を自分の考えとともに話したり書いたりして伝え合う活動を通して、概要や要点を捉える力が身に付いたかについて、以下の評価の基準に基づき評価した。

	思考・判断・表現
「おおむね満足できる」状況 (B) と判断する基準	本文の内容を理解し、テッセイの仕事に対する姿勢から仕事に誇りを持ち工夫や努力をすることが大事であることを読み取り、それらを踏まえて自分の考えを書いている。
「おおむね満足できる」状況 (B) と判断される生徒の解答の例	The Tessei clean Shinkansen trains in a short time. The Tessei can do so thanks to the unique Japanese culture of cleaning and their pride. The Tessei think of ideas and make efforts to improve their work for passengers. I have learned that it is important to work with pride and think what we can do for others as the Tessei do. In the future, I want to do my job with pride and think what I can do for other people.

Lesson 3 Tokyo's Seven-minute Miracle

① 本文から読み取ったこと (初読後)

概要 (大まかな内容):
要点 (筆者が伝えたいこと):
Part3 のタイトル
Part4 のタイトル

② 1 段落目の にはどのような言葉が入るでしょうか?理由も答えなさい。

想定する文・内容:
理由:

③ 本文から読み取ったこと (While Reading 2nd Reading 後)

概要 (大まかな内容):
要点 (筆者が伝えたいこと):
Part3 のタイトル
Part4 のタイトル